



ぱりずむ



「ハグロトンボの Social distance」

も く じ

巻頭言	2
所長挨拶	3
式典開催報告(学位記授与式・入学者の集い)	4
卒業生・謝辞	5
教務からのお知らせ	6~9
事務室からのお知らせ	9
行事開催のご報告	10~12
公開講演会のご報告	12~13
学生掲示板	14
教務スケジュール表	15
今後のスケジュール	16

- 別紙
- ・面接授業(追加登録案内+申込用紙)
 - ・オープンセミナーのご案内
 - ・熊原先生数学セミナーのご案内
 - ・客員教員ご紹介
 - ・教職員紹介
 - ・ワークショップ「サイコドラマ」のご案内
 - ・放大大まつりのご案内
 - ・放大大まつり「フリーマーケット」開催のお知らせ



デバッグ

鳥取学習センター客員教員
菅原 一孔

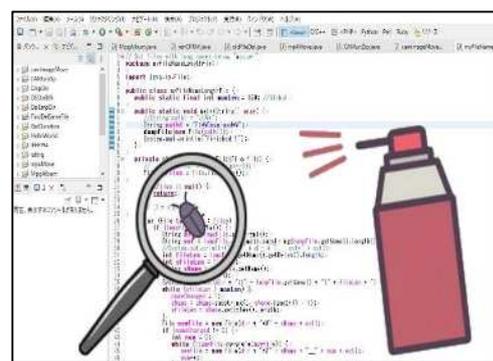
これまで約 40 年間にわたり電気系や情報系の学科で講義を担当してきました。その中ではプログラミング初心者の学生への入門的な講義も担当しました。入門的なプログラミング講義の最初の頃、学生たちは自分で書いたプログラムが正しく動作するものと思い込むあまり、それが思ったように動作しなかったり、ましてやエラーが生じたりしたときには、そのこと自体に驚いてしまい、その後どうすればよいのか途方に暮れているところをよく見かけたものでした。

ところで、表題のデバッグという言葉をお聞きになったことはありますか。プログラムを開発する際、一度でまともに動くプログラムが書けることは極めてまれで、いくら短いプログラムでもエラーなく最初から最後まで実行できるプログラムを書くのはなかなか難しいものです。たとえ、できあがったプログラムが想定していた動作をしない場合でもです。そのようなプログラムは、エラーなく望む動作をするプログラムに修正していく必要があります。この作業をデバッグと呼びます。デバッグする前のプログラムには、俗に虫、バグ(Bug)が含まれているといい、その虫退治がデバッグ (Debug) 作業というわけです。

前述の学生たちも講義が進みプログラミングに慣れてくると、最初に書いたプログラムが正常に動作することは期待せず、まず書いただけ書いてみてエラーが生じた場合にはそれに対応し、また動作が思ったものでなかった場合には、いろいろな入力を与えてみてプログラムの動作を調べ、どこに間違い(バグ)が潜んでいるのか見つけていく作業が“平然”とできるようになります。

講義ではバグを見つけやすくするために、一度にプログラム全体を書くのではなく、それで実現しようとする全体の機能をよく調べ、それをいくつかの小さな基本的な機能に分解し、それらの小さな機能の集合体としてプログラム全体を構成することを教授します。例えば、全体で数百行からなるプログラムでも、個々の小さな機能を持つプログラム(通常、人の目が届く範囲の数十行のプログラム)に分解し、その相互呼出で全体を組立てる方法を教えるわけです。

大学入試に情報の科目が導入されたり、小学校でも情報に関する教科が取り入れられたりしています。そこでの狙いは、何かのプログラミング言語の習得のような単なるプログラミングテクニックの学習にあるのではなく、何かの現象を見たときにそれを成り立たせている基本的な要素を見極め、その集まりとして全体を理解する能力を育成することにあると思っています。さらには、このことは情報関係の分野だけでなく我々の生活の中で生じる様々な現象に対しても成り立つ話で、そのような目で物事を見る癖がついているかないかで世の中の物事に対する理解の度合いも変わってくるように思います。



先生のプロフィール

鳥取大学名誉教授。
神戸大学大学院工学研究科博士課程 修了(工学博士)。放送大学は数年前に客員教員を務め、今回は再登場です。2021年度までは鳥取大学の情報系学科の教員を務めていましたが、2022年3月に定年退職し、今後はのんびりした生活を送りたいと願っています。



鳥取学習センター
所長 田中 久隆

ご入学おめでとうございます



2023年度第2学期、放送大学にご入学された皆様に心からお祝い申し上げます。この度、鳥取学習センターでは教養学部にて78名、大学院にて3名がご入学されました。10月7日(土)、来賓として学友会長様、元所長・前所長様、そして客員教員の先生方をお迎えして「入学者の集い」が開催され、学友会長様から祝辞をいただきました。

さて、最近のことですが、アニメ作品「君たちはどう生きるか」が話題になりました。ご覧になった方もいらっしゃると思います。ただ、このアニメ作品は86年前(昭和12年)に出版された吉野源三郎の原作と筋が違うようです。先日、久しぶりに原作を読み直してみました。ご存じのように、これはコペル君(本名 本田潤一君、2年前に父を亡くした旧制中学の2年生)とその友人たちの間に起こることを父親代わりの叔父さんが綴っていくものです。ここでは、この本の最初に出てくる「ものの見方」について少しご紹介します。

中学1年生だった10月の午後、コペル君は銀座のデパートの屋上で叔父さんと路面を歩き交う車や人々を見ています。そのとき、広い東京の人口の話になりました。叔父さんは、東京の人口は昼と夜でとても違って、「多くの人が毎朝、毎夕、潮のようにさしたり引いたりしている」と話します。帰りの車の中でコペル君は「人間て、叔父さん、ほんとに分子だね。僕、今日、ほんとうにそう思っちゃった」といいます。叔父さんは、コペル君が自分を広い世の中の一分子として見たということは、決して小さな発見ではないと自身のノートに記します。コペル君が自分中心の考え方ではなく、自分を離れて全体を見渡すことの大切さに気付いたので、叔父さんは感動し、コペル君の成長に安堵したのです。コペル君のこの考え方は、「天動説」が「地動説」に変わったようなものだから、大変深い意味をもっているとも書いています。叔父さんはコペルニクスのように何事にも疑問をもち、いろいろな「ものの見方」をすることが大切だとコペル君に伝えたいのです。それで「コペル君」と呼ぶようになったわけです。

入学生の皆様は、この度、放送大学で新たな勉学の世界に踏み込まれました。これからいろいろな場面で、この「ものの見方」が大切になってくるとおられます。柔軟な「ものの見方」、そして確かな「ものの見方」によって、有意義で楽しい学生生活を送ってください。学習センター一同、応援しています。



ご卒業おめでとうございます！



10月7日(土)、鳥取学習センターにて「学位記授与式」が開催されました。卒業生12名のうち3名が出席され、田中鳥取学習センター所長よりお一人おひとりに学位記と花束が手渡されました。

また、本学習センター同窓会設立等の運営に多大な支援をされた西本弘之さんに感謝状と記念品が贈呈されました。

(名)

2023年度1学期 卒業生		
教養学部	人間と文化コース	1
	心理と教育コース	3
	情報コース	1
	生活と福祉コース	5
	社会と産業コース	1
	自然と環境コース	1
計		12



お祝いの言葉を述べる田中所長



2023年度第1学期卒業生の皆さん



感謝状を受領される西本 弘之さん

ようこそ放送大学へ！



学位記授与式同日の午後、鳥取学習センターにて「入学者の集い」が開催されました。新入学者81名のうち8名が出席されました。

式典では、田中所長からの歓迎の挨拶、次いで、鳥取学習センター全在生から成る組織「学友会」会長清水道代氏より祝辞が贈られました。引き続き、概要説明・オリエンテーションが行われ、最後に学友会茶話会が開催されました。



2023年度第2学期入学者の皆さん





謝 辞



このたびは、私ども卒業生のためにこのような式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、ご多用のところご臨席を賜りましたご来賓の皆様、所長をはじめ教職員の皆様、並びに関係者の皆様に卒業生一同、心より御礼申し上げます。

思い返すと、私はこの会場のこの場所での入学者の集いから放送大学の一員としての一步を踏み出しました。子どもの受験をきっかけに安易な考えで入学した私は、その後に仕事で多忙になり学習時間が確保できず、目標の単位取得が難しく再入学が必要になるなど、思いがけず卒業までに予定外の時間がかかってしまいました事に自分でも驚いております。

放送授業では、比較的容易に講義や試験に向き合えた科目もありましたが、十分な学習時間が確保できず、認定試験の前になって焦って詰め込み学習になってしまった科目や学習が足りず、試験が一度では合格できなかった科目があったことなど厳しい現実には落ち込んだこともありました。

面接授業では、日頃全く縁のない分野を選択しては「へえ〜!」「そうだったのか〜!？」と自分にとっての新しい知識を得た事が嬉しく、質問すると答えの返ってくる生の講義に新鮮な感じがしました。休憩時には面識のなかった他学生との交流で多様な学生が在籍している事を再認識し、情報交換をすることで次学期の科目選択や試験対策などの参考にしました。土日の連続講義で軽い疲労感を覚えた事もありますが、一方で、スペイン語の講義の一環としてトルティーヤの調理方法を学んだり、お昼休みに講師の先生と受講生とでランチに出かけたりと、楽しい思い出も沢山できました。

しかしながら、私が一番好きな時間は、次の学期に履修する科目を選択して決定するまでの間でした。シラバスの記述のある科目選択の冊子が送られてくると、ワクワクしながら、幾度も読んだり眺めたりしていました。シラバスの内容、難易度や試験の日時、試験の形態など考慮しながら科目を選択していく、そのプロセスがとても好きでした。

なぜ、次学期に思いを馳せてはワクワクするのかと考えると、ひとえに学ぶことの面白さを知ってしまったからなのだと思います。有り難いことに、放送大学では多くの高名な講師陣が、それぞれの専門分野で追求されている知識やデータ、経験や主観などを私たち向けの概要と言葉で、理解し易いように工夫して講義にしてくださいました。ご指導いただいた先生方の表情は私の目に生き生きと映り、ご自身の研究に対する自信と誇りを感じました。探究することの魅力伝えてくださった気がしています。私は本学に入学する前から看護師の資格を持ち、看護学の学習もしてきたつもりでおりましたが、自分の専門とする分野だけでも学んだ気になっていたことは広大で深えんな学問の海の中で如何に浅く、今後学ぶべき事柄がいかにも多く存在しているのかを痛感しました。更に他分野の学習まで考えると、学問は果てしなく、終わりのないものであるという事を実感しました。実のところ、受験生であった子どもに「あなたは孤独に勉強しているわけではない。お母さんも頑張るから、一緒に頑張ろう」という軽い気持ちで放送大学への入学を決めたのですが、年月を経て、今では在学中の学びと気づきに感謝したい思いでいっぱいです。

最後になりましたが、所長をはじめご指導いただきました先生方、それらの学びを円滑に受けるための学習センターの職員の方々のご尽力には常日頃から感謝の念に堪えません。休学や履修の相談から新型コロナウイルスで変容した認定試験の受験方法の説明、面接授業の環境整備にいたるまで、多岐にわたる場面でサポートしていただきました。衷心より厚く御礼申し上げます。

皆様方の益々のご活躍と放送大学の発展を願い、謝辞とさせていただきます。

令和5年10月7日
卒業生代表 伊藤 都



教務からのお知らせ

学生証について

参照『学生生活の葉』学部 P18～19、大学院 P24～28)

設のご利用等の際は、学生証が必要です。
学生証は、学習センターで発行しております。新規入学・継続入学の方、
学生証更新の方は、学生証の交付を受けて下さい。



受取方法

新規入学・継続入学の方

入学許可書をお持ちのうえ、
鳥取学習センターへお越し下さい。

在学生で学生証の有効期限が
2023年9月末で切れた方

有効期限が切れた学生証をお持ちのうえ、
鳥取学習センターへお持ち下さい。

※ 鳥取学習センターへの来所が難しい場合は、郵送で受け取ることもできますので、お申し出下さい。

教務情報システム(システム WAKABA)について

参照『学生生活の葉』学部 P22～24,P109～113、大学院 P31～33,P103～107

放送大学では皆様の学修をサポートするため、教務情報システム(システム WAKABA)など、インターネットを利用した各種情報システムを提供しています。詳細なマニュアルは、システム WAKABA の『キャンパスライフ』に掲載しておりますので、適宜ご参照ください。ログインID・初期パスワードは入学許可証に記載されています。

①放送大学ウェブサイトシステム WAKABA にアクセス

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/> または在学生 (WAKABA) からシステム WAKABA (教務情報システム) をクリック

②ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリック



②ログインIDはハイフン(-) 無しの学生番号10桁
初期設定パスワードは西暦生年月日の8桁

【システム WAKABA マニュアル】
システム WAKABA ログイン後、次の手順でマニュアルをご覧ください。

「キャンパスライフ」
タブ

「附属施設・情報システム」を
クリック

【システム WAKABA】
マニュアル

【パスワード変更のお願い】

初期パスワードは必ず変更してください。情報セキュリティ上安全を確保するため、一定期間が経過するとログインできなくなります。ログインできない場合は、下記の【問い合わせ先】までご連絡ください。

【問い合わせ先】

- 鳥取学習センター (電話：0857-37-2351)
- 学生サポートセンター (電話：043-276-5111)
- 教務課教務係 (e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp)

システムの利用を再開したい場合や
パスワードを忘れてしまった場合
も、いずれかまでご連絡ください。



放送大学ウェブサイトについて

放送大学ウェブサイト、鳥取学習センターウェブサイト、システム WAKABA の「学内連絡」では随時学生の皆さまへのお知らせを掲載していますので、こまめにご確認ください。

- 放送大学ウェブサイト : <https://www.ouj.ac.jp/>
- 鳥取学習センターウェブサイト : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori/>
- システム WAKABA ログインページ : <https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

キャンパスメールについて

「キャンパスメール」は、Web ブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られています。

- ・メールアドレス：学生番号ハイフン（-）を除く半角 10 桁 @campus.ouj.ac.jp
- ・大学からは修学関連の連絡を随時していますので、ご確認ください。
- ・学生から大学への連絡手段としても利用できます。

※キャンパスメールに届いたメールを、携帯メールアドレスなどへ自動転送する設定方法については、システム WAKABA「キャンパスライブ→附属施設・情報システム」にてご案内しています。

※キャンパスメールは、大学に在籍しなくなると使用できなくなり、送受信記録はクリアされます。



「学生生活の葉」と「利用の手引」について

「学生生活の葉」は大学本部より印刷教材等と一緒に郵送されます。この葉には放送大学の学修で重要となる、各授業の受講方法・単位認定試験までの必要手順やスケジュール・住所変更や休学などの各種申請手続きを始め、学習センターの利用方法・教務情報システム(システム WAKABA)・課外活動等についても記載されています。

「利用の手引」は、鳥取学習センターのご利用案内・スケジュールなどを掲載した、学生の皆様のための手帳です。事務室でお配りしております。まだお持ちでない方は、来所の際にお申し出ください。



学習相談について

参照『学生生活の葉』学部 P20～21,P82～89、大学院 P29～30,P80～89

各分野の専門的な内容や履修科目の選定（卒業研究を含む）に関すること、あるいは基礎学力をアップしたいなど、学修上の様々な問題は客員教員の「学習相談」をご利用ください。相談する客員教員がわからないときは、事務室の「何でも相談窓口」にお申し出ください。

詳細につきましては、鳥取学習センターウェブサイト (<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori/>) の【お知らせ】の「学習相談について」をご覧ください。または、鳥取学習センターにご連絡ください。（電話：0857-37-2351）

修学支援について

障がい（肢体、視覚、聴覚、言語など）のある方への修学支援について

放送大学では、障がいのある方で学習に支障をきたす恐れがある場合、障がいの特性に応じた「学修上の特別措置」より修学支援を行っています。

特別措置を希望される方は、大学ウェブサイトをご覧くださいとともに、学習センター事務室にご相談ください。

※詳細は「学生の葉」（教養学部）P28（大学院）P40 をご覧ください。

学割証について

参照『学生生活の葉』学部 P122～124、大学院 P115～116

全科履修生、修士全科生、博士全科生の方は、自宅から学習センター又は大学本部に通学する場合など（例：面接授業・卒業研究・研究指導など）に「学生旅客運賃割引証(学割証)」を提示することで割引が受けられます。

JR では普通乗車券のほか、往復が同一経路の場合に限り回数券も割引対象です。「学割証」の詳細、発行依頼は学習センターへお問い合わせください。

通信指導について

参照『学生生活の葉』学部 P61～65、大学院 P63～67

通信指導を提出し、合格しないと、単位認定試験を受験できません。



通信指導は、各学期の途中で 1 回、前半の一定の範囲で出題されます。通信指導を提出し、合格しないと単位認定試験を受験することができません。履修科目の単位修得が必要な方は必ずご提出ください。通信指導の問題冊子は、印刷教材と一緒に発送します。（通信指導の解答および提出が Web のみの科目を除く。）問題が **11 月 6 日(月)**までに届かない場合は、大学本部（学生サポートセンター TEL：043-276-5111）へ連絡して下さい。※通信指導の問題冊子発送状況は、システム WAKABA の「教務情報」>「学生カルテ」>「教材発送情報」で確認できます。

提出期限

★Web 2023年11月8日(水) 10:00～11月29日(水) 17:00

★郵送 2023年11月15日(水) ～11月29日(水) 必着

※提出期限を過ぎて到着したものは受理されませんので、余裕をもってご提出ください。

2023年度第2学期単位認定試験について

参照『学生生活の葉』学部 P65～74、大学院 P67～76

放送授業を科目登録し、通信指導の結果により受験資格を得た方は、各学期末に行われる当該科目の単位認定試験を受験することができます。出題範囲は第1回から第15回までの放送授業とそれに対応する印刷教材の範囲です。今学期の単位認定試験の実施方法および実施期間は以下のとおりです。

2023年度単位認定試験についてのご案内をご覧ください。<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/>

(教養学部・修士課程ともに) 試験日程

<Web 受験方式>

試験期間：2024年1月16日(火) 9:00～1月24日(水) 17:00

<郵送受験方式>

提出期間：2024年1月16日(火) ～1月24日(水) 郵送必着

※「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」の3科目のみ郵送受験方式(自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法)

○Web 受験が困難な方は、申請をすれば、学習センターで受験することができます。

・ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情があり、Web 受験が困難な方は、所定の期間内に申請を行うことで、学習センターで受験することができます。

●申請方法 「学習センター受験申請書」(印刷教材に同封・印刷教材の発送がない場合「番組ガイド」等に同封)にて郵送で申請してください。

●申請期間 2023年10月1日(日)～2023年11月24日(金)《必着》

申請宛先

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

○操作体験会にご参加ください。

・Web 単位認定試験体験版の操作体験を自宅で行うのが困難な方には、学習センターで操作体験会を開催します。

詳細については、「学習センター受験申請書」の提出をしていただいた方に対し、随時ご案内をお送りします。

また、パソコン操作が不安な方もご参加いただけますので、直接当学習センターにご連絡ください。下記日程でご都合が合わない方もご連絡ください。(要予約)

鳥取学習センターでの開催予定

12/6(水) 14:00～16:00

12/10(日) 14:00～16:00

12/16(土) 14:00～16:00

1/9(火) 14:00～16:00

2024年度第1学期以降のパソコンを使う面接授業について

本学では教育DXを推進しており、学内のパソコンを使用してきた面接授業においても、ご自身のパソコン等を持参して受講していただく方式(BYOD: Bring Your Own Device)を展開する予定です。その為、2024年度第1学期以降、面接授業の受講の際パソコンを必ず使用していただくものに関しては、原則としてご自身のパソコン等を持参して受講していただくようになります。パソコンを使用しない面接授業については、これまでと同様に開設します。なお、パソコン持参で受講する面接授業の詳細につきましては本年10月頃に、システム WAKABA>キャンパスライブ>学内連絡でお知らせします。また、必要となるパソコンの性能やソフト等は、来年1月上旬に公開予定の各科目のシラバスでご確認ください。

※今回のBYODに関しては面接授業に関してのみで、従来の放送授業視聴用の端末(Chromebook)は、2024年度以降も各学習センターにて使用できます。

2024年度第1学期以降の教養学部全科履修生の卒業要件について

2024年度第1学期より、全科履修生の卒業要件（授業形態に係る要件）が改正されます。

全科履修生在学中の方（2023年度第2学期 現在）が、2024年度第1学期以降に継続して在籍し、本改正の適用を受ける場合は**2023年10月20日（金）9:00から2023年12月7日（木）24:00までに**カリキュラム移行手続きを行ってください。**2024年度1学期より新たな卒業要件が適用されます。**

なお、2024年度第1学期以降に教養学部全科履修生として新規・再入学・継続入学する方は、新しい卒業要件が自動的に適用されます。

【変更の概要】

全科履修生の卒業要件（授業形態に係る要件）について、放送授業より修得すべき最低修得単位数が94単位から74単位に変更され、放送授業・面接授業・オンライン授業のいずれの単位でも修得できる単位数が20単位増加します。

（科目区分に係る卒業要件の変更はありません。）

詳細は、“カリキュラム改正について”をご確認ください。<https://www.ouj.ac.jp/gakubu/about/saihen/>

※2015年度以前に全科履修生として入学された方で、2009～2015年度のカリキュラムが適用されている方は、カリキュラム移行手続きを行うと、「授業形態に係る要件」だけでなく、「科目区分に係る要件」も変更となりますので、ご注意ください。

授業形態	修得すべき最低単位数（計124単位）	
		授業形態を問わない単位数
放送授業	74単位 (従来：94単位)	30単位 (従来：10単位)
面接授業または オンライン授業	20単位	



事務室からのお知らせ

機関誌「ぶりずむ」の送付について

鳥取学習センターでは、機関誌「ぶりずむ」を年4回（4月、7月、10月、1月）発行しております。前号にてご案内のとおり、経費削減のため送付は、ご希望の方のみとさせていただきます。送付をご希望の方は、同封のはがきを返送してください。なお、ご希望の有無を確認後、1月号より適用させていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

新聞購読取りやめについて

鳥取学習センターでは、日本海新聞・読売新聞を購読しておりましたが、経費削減のため10月より読売新聞の購読を取りやめることとなりました。何卒、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

「学友会・同窓会主催懇親会（忘年会）」開催のお知らせ

学友会・同窓会主催の懇親会を開催します。在学生・同窓生であればどなたでもご参加いただけますので、皆様お誘い合わせのうえご参加いただき、楽しく有意義な一時をお楽しみください。

日時	11月18日（土）18:30
会場	炉端かば 鳥取駅前店
会費	5,000円（飲み放題付き）当日集金
申込先	鳥取学習センター事務室 11月11日（土）締切

☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp

「放大まつり」開催について

放送大学鳥取学習センター文化祭「放大まつり」を“学ぼう！目から耳から気持から”と題し、下記日程で開催します。

詳細は同封のチラシをご覧ください。

日時	11月23日（木・祝日）9:30～16:30 作品展示は、11月19日～23日
場所	放送大学鳥取学習センター



■ 報告

令和5年度 学友会研修旅行

“世界文化遺産 国宝 姫路城”

学友会会長：研修旅行担当 清水道代

1. 日程等

日 時: 令和5年 9月10日(日)

場 所: 姫路城(兵庫県姫路市)

参加者: 17名

2. 内容

本年度の研修旅行は、姫路城を訪問しました。本行事は令和2年度からコロナ感染症対策による移動制限で3年間中止となっていました。5月に感染法上の扱いが5類に移行したことから、4年ぶりに開催することができました。

参加者を乗せた大型バスは、鳥取駅南口を予定より5分早く出発しました。車中では、初参加の人、久しぶりに顔を合わせた人、各自自己紹介と近況報告などをしながら、和気あいあいと過ごしました。バスは予定より20分程度早く目的地(昼食会場)に到着。そこからは姫路城が一望できたので、昼食をとりながらゆっくりお城を見物。昼食後は、お城へ移動して写真撮影を行うなど、ガイドさんとの待ち合わせ時間までゆっくり過ごしました。姫路城周辺は観光客が多く、特に外国人観光客が目立ちました。

入り口で2班に分かれ、それぞれのガイドさんの案内で城内外を見学しました(写真1)。



写真1. ガイドツアー

姫路城の歴史は長く、1333年に赤松則村(円心)が姫山に砦を築いたことを起源とし、1867年の大政奉還を乗り越え、1873年に廃城令が発せられたのち、名古屋城や熊本城とともに全国56の存城の一つとして廃城を免れました。1910年~1911年の明治の大修理のあと、1931年に大天守閣が国宝に指定され、1935年から始まっ

た昭和の大修理は、太平洋戦争中中断されて戦火を潜り抜け、戦後再開されました。1993年に日本で初めて世界文化遺産(ユネスコ)に登録され、2009年~2015年の平成の修理で大天守閣の修理を終え、姫路城はそのたたずまいから“白亜の要塞”として名をはせ、海外(特にフランス)から高い人気を集めています。

ガイドさんの丁寧な案内で、姫路城の特徴は戦国、豊臣、徳川の時代変遷のなかで、戦に備えた様々な工夫や驚くような仕掛けが取り入れられていること、石垣には時代ごとの特徴が残り(写真2)、石棺や墓石、石灯籠や石臼などあらゆる石材を使用していることがあります。また、昭和の太平洋戦時下では目立たないように炭で黒く塗ったこと、平成の大改修で白く輝く大天守閣を復元した逸話は、特に印象に残りました。



写真2. 石垣の継ぎ目(黄色矢印)が線として見える。線は石垣の角。右側が豊臣、左が徳川時代とされる。

城内は観光客も多く、大天守閣までの順路は人であふれ、いくつもの急階段は登りがいがあり、熱中症に気を付けながら移動をしました。大天守閣で見た姫路城下は整然として、当時の繁栄を現代に残しています(写真3)。ちなみに、姫路市の人口は鳥取県の全人口と同規模です。



写真3. 大天守閣から姫路市内を望む

3. まとめ

研修旅行では全行程を通じて参加者間の交流を深めました。同じものを多角的な視点でとらえることができるのも、研修旅行の醍醐味だと思います。参加者の笑顔は、姫路城にも負けないくらい輝いていました。(集合写真1. 2)。



集合写真2. 見学後、ガイドさん2名(最後列左から2、3番名)とともに



集合写真1. 見学前

参加者の感想です

研修旅行参加者

先日の研修旅行では大変お世話になり有り難うございました。

以前に、と言っても相当前ですが、姫路城に行ったことはありますが殆ど忘れてしまっていて、今回の見学で改めて姫路城の凄さと美しさを感じることができました。城主など権力者の人間関係にはあまり関心がないのですが、城の造りや、それを作った大工など職人の仕事に多いに興味がありました。心柱が2本使われていること、その一部を見ることができたこと、石を落とす窓の構造、石垣に石棺を使うなど、所々で職人の仕事ぶりが目に浮かぶ時がありました。

雨が降るかと傘を用意していましたが、その必要もなく、むしろ外歩きでは汗が噴き出し、またお腹の調子も悪くなり、その点は残念でした。

しかし、ガイドさんの丁寧な説明で、姫路城を少しは理解できたかなと思います。最後に、お世話になった松本様と、上野様に感謝申し上げます。

松本 晶子(職員)

放送大学鳥取学習センターでは、平素の学習をさらに深め、学生の交流をはかるため研修旅行を以前は毎年行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に規定されたため、4年振りに実施されました。

姫路城の歴史、城に関わる人物の生涯、戦に備えた城の構造等を学ぶ事ができました。また、行きのバスでは自己紹介と近況報告で盛り上がり、帰りのバスでも参加者の人生や考えを知り、とても有意義な研修旅行となりました。参加の学生さんと協力いただいた皆さんに感謝いたします。

山本 恵子

昨日の学生旅行では、大変お世話になりました。久しぶりの学生旅行、しかも世界遺産の姫路城なので、当日まで楽しみにワクワクしながら過ごしました。

小学生の頃に一度行った事がある姫路城でしたが、その頃は世界遺産などという言葉もなく、ただ綺麗な大きなお城だなという認識で単なる観光に行っただけで、あまりはっきりとは覚えていませんでした。

この度の旅行で有意義だったと思った点は、単なる観光としてではなく学生という立場で『世界遺産 姫路城』について学ぶことが出来たことでした。お城にまつわる現実の資料から、全体の景色から内部のしつらえを眼で見て肌で感じて、その当時の建築に関わる様々な出来事や、その当時生きていた人々のことに思いをはせながら、姫路城を味わう事ができました。

また、参加していた様々な地域や年代の学友の皆さまと触れ合う事ができたことも、この研修旅行の醍醐味でした。コロナが明けた今、やはり、人と人との触れ合いは、何よりも代え難いものだと強く感じた研修旅行でした。

企画していただいた事務局のみなさま、本当にありがとうございました。

こういう触れ合いができるのも、放送大学の多様性がある学生がいる強みだと思います。また10月から新しい学生さんが入学されますが、こういった面も新入生にアピール出来たらいいなと思います。

学友会主催親睦会(ビアパーティー)が開催されました

日 時：7月29日(土) 18:15～
会 場：ホテルニューオータニ鳥取パリエール
参加者：13名

放送大学鳥取学習センター学友会主催のビアパーティーが4年ぶりに開催されました。田中所長の挨拶後、乾杯の音頭で参加者がグラスを合わせ、賑やかにパーティーは始まりました。最近このように集まることが無かったせいか、この時こそはと話に花が咲き、久々に楽しい時を過ごしました。11月には忘年会を予定しております。もっと多くの皆さまのご参加をお待ちしております。交流を深めましょう。



「茶話会」を開催しました！

日 時：10月7日(土) 15:00～
場 所：鳥取学習センター多目的室
参加者：17名

学友会茶話会を約4年振りに開催し、新入生に、令和5年度名誉学生西本弘之氏、田中久隆所長を交え、放送大学で学ぶことの楽しさや目標について話しました。自己紹介に始まり、参加者それぞれの過去・現在・未来の学びについて思いを語り、互いに耳を傾け、さらに修学上の情報交換をおこないました。特に、研修旅行や文化祭の思い出、サークル活動の楽しさ、履修計画の立て方など、多岐にわたる話題で盛り上がりました。参加者からは、「皆さんと交流して、いい刺激をもらった」、「体験が聴けて、充実した会だった。参加して良かった」、「学ぶことが楽しみだ」、「学友会行事に参加したい」といった声が寄せられました。学友会は、鳥取学習センターに所属する全学生(約300名)が会員となる学生のための組織です。事務室の支援を受けながら、交流・親睦機会の創出、学びのサポートをおこなっています。イベントや活動の詳細は、鳥取学習センター機関誌「ぷりずむ」やウェブサイトでお知らせします。学生の皆さま、お気軽にご参加ください。



「ホテルニューオータニ鳥取パリエール」にて



「鳥取学習センター多目的室」にて

(撮影・報告：学友会会長 清水道代)

公開講演会のご報告

「小惑星リュウグウからのメッセージ：太陽系の起源と人類の今後」をテーマに岡山大学名誉教授・自然生命科学研究支援センター特任教授の中村栄三先生を講師にお迎えし公開講演会を開催しました。29名の方が参加されました。

令和5年9月3日 本学講義室

皆さんは小惑星探査機「はやぶさ2」をご存じでしょうか。おそらく1号機である「はやぶさ」は地球に真っ直ぐ帰還し、またその偉業が実写映画化もされたので、記憶に残っていると思いますが、実は小惑星イトカワへ行った「はやぶさ」で発生した様々な問題を克服した後に打ち上げられた2号機である「はやぶさ2」は、貴重な「試料」を小惑星「リュウグウ」から限りなく汚染を受けない状態

(宇宙空間に存在する小惑星リュウグウ以外の物質が混入していない状態)で持ち帰り、様々な詳細で正確な分析が可能となりました。ちなみに「はやぶさ2」は地球に帰還せず地球に近づいた時に「リュウグウ」で採取した「試料」をカプセルに入れて地球に打ち出して地上に届けました。

その「試料」5.4gの内16粒55mgを使って、本県三朝町にある岡山大学惑星物質研究所で中村栄三先生の指揮の下、鳥取県の企業の生み出したマイクロ研削技術を用いることで「試料」を全く無駄にすることなく様々な分析が進められました。

講演では惑星物質研究所の成り立ちを太陽系の成り立ちに例えるなど、受講生に非常に分かり易い方法で小惑星リュウグウの試料を分

析して得られた研究成果から、生命の起源物質と考えられるアミノ酸や大量の水の形成過程を明らかにすることができたことをまず説明されました。

また、これまで小惑星にある丸い陥没は他の惑星の衝突によりできた陥没クレーターと考えられていたものが、実は惑星内部にある氷が蒸発噴出する際に内部からできたカルデラ（火山噴火でできた巨大な凹地に例えて）であることが分かったなど、新たな知見についてもたくさん話されました。

このリュウグウの「試料」からは「生命の起源」＝「命の源」である「アミノ酸」「炭素」「水素」「窒素」が見つかっており、これらを混ぜた土にそばの種を蒔いて汚染の元である液肥を使わず水だけで育てる実験をすることにより、命が生まれることを証明する実験もなされました（厳密に言うとうち地上に自然にある「耳かき一杯のバクテリア」も必要なのだそうですが）。

締めくくりとしてこの研究成果を元に人類の月での将来的な自給自足の現実的な可能性について、あっと驚くような方法を提案して講演を締めくくられました。

普段は大学院生など若い世代の方に英語で講演される機会が多いそうですが、高齢者の多い本学の学生等に対し、難しい内容を非常に分かり易く丁寧にお話いただき、受講者一同興味深く聞き入っていました。



「講演中の様子」

倉吉市立図書館に放送大学の印刷教材テキスト344冊が整備され、10月6日から貸出が始まりました。

また、テキストの配架を記念して当センターの長谷川ゆかり客員教員による「健康寿命の延伸とQOLを高めるために」をテーマに出前講座が開催され、36名の方が参加されました。

令和5年10月9日 倉吉交流プラザ

を送り、幸せな人生をかなえようとする概念です。「よりよく生きる」「その人らしく充実した生活を送る」ためにできることをそれぞれが考えてみませんかという問いかけに始まり、県民の実際の寿命と健康寿命との差や全国での順位などの数値比較を具体的に見てみるとともに健康寿命を延ばすためにはどのようなことに気をつけたら良いのかなどについて分かりやすくお話をいただきました。一般的に平均寿命と健康寿命の差は令和元年の数値では男性で約8.73年、女性で約12.06年となっており、この年数は健康上の問題で日常生活に何か影響が生じてから亡くなるまでの年数を意味しています。このことを考えると単純に寿命が延びるだけではなく、健康寿命を平均寿命に近づけていくほど充実した豊かな人生を全うできたと言えるのではないのでしょうか。私たちはそのために何をなすべきか、あるいはなさぬべきか真剣に考えるべき長寿時代に今まさに生きていると言えるのではないのでしょうか。

そんな中で一般的にこのような話もあります。健康には「運動よりも食事よりも読書が大事」。アメリカの大学の研究では、週3.5時間（1日30分）の読書で長生き、読書によって認知低下を32%遅らせることができる、6分の読書でストレスを68%削減する効果があるなど読書には様々な効用があることが科学的に明らかにされています。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の流行により人と人の距離は広がりましたが、人と本の距離は変わらず、逆に一層近づいたのかもしれない。この機会に放送大学授業の教材教科書はもちろんのこと、ようやく涼しくなってきたこの秋からでも興味のある本を身近な図書館や書店で手にとってはいかがでしょうか。



「講演中の様子」

QOL(クオリティ・オブ・ライフ)とは、一人ひとりが健康で、自分らしく、より豊かな生活

サークル活動の実施に関しましては、日程変更がある場合など鳥取学習センターウェブサイト等でお知らせします。ご不明な点は、お電話等で確認をお願いいたします。

書に親しむ会

心を落ち着けて「書」に向かうひとときを過ごしてみませんか。

鳥取学習センターに学ぶ学生のサークル活動の一環として、初めて筆をもたれる方から経験者まで、共に書に親しむことを通じ、相互の親睦と交流を図ることを目的に開催します。お気軽にご参加ください。



講師 ▶ 放送大学鳥取学習センター客員教授 住川 英明 先生
(日本書道史学、書写書道教育学)

日程 ▶ 10/18(水)、11/8(水)、12/20(水)

時間 ▶ 13:30~15:00

場所 ▶ 鳥取学習センター



和風サークル「さつき」

「着物」をより身近に楽しむ「和風サークル『さつき』」です。

毎月1回程度活動しています。
着物や和装に興味のある方のご参加をお待ちしています。
季節ごとに様々なイベントも計画しています。見学大歓迎です♪
着物や道具をお持ちでない方もお気軽にご参加ください。

一緒に着物を
楽しみましょう



日程 ▶ 10/15(日)、11/12(日) 12/17(日)

時間 ▶ 13:00~15:00

場所 ▶ 鳥取学習センター

持ち物 ▶ 着物、着付けの道具等

申込 ▶ 学習センターまでお申し込みください。



熊原先生と楽しく数学を学ぼう！！

「心理学実験の面接授業を受講したけど、統計が難しかった」とよく耳にします。心理学実験を受講したいけれど、統計学が難しそうだからと受講を躊躇していらっしゃる方も多いのでは……。まずは、統計学の初歩の初歩を一緒に学びませんか。先生曰く、「難しいと思われがちな数学ですが、段階を踏み一歩ずつ進めば意外とわかりやすいことも多いです。一緒に楽しく学びましょう。試験等は一切ありません。」

科目 ▶ 数 学 (学習内容は熊原先生と受講生が相談のうえ決定します)

講師 ▶ 熊原 啓作 先生 (放送大学名誉教授、鳥取大学名誉教授、放送大学教養学部在籍)

日時 ▶ 毎月第2・第4土曜日 14:00~15:30

場所 ▶ 鳥取学習センター

受講料 ▶ 無 料

連絡先 ▶ ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp



2023年度 第2学期 ★ 教務スケジュール表 ★

10月

11月

12月

1月

3月



10/1

放送授業期間

1/14

冬季学習期間

3/31

放送授業



テキストが届きます



授業を視聴・学習します



通信指導を提出します



引き続き、授業を視聴・学習します



単位認定試験を受験します



通信指導を提出・合格しないと単位認定試験を受験できません。

通信指導提出期間

郵送 11/15～11/29

Web 11/8～11/29

1月上旬

通信指導添削結果と受験票が届きます

単位認定試験

1/16～1/24



試験に合格すると、単位を取得できます！



放送授業、オンライン授業、と面接授業(ライブWeb授業を含む)の科目登録申請手続きです



10/5

オンライン授業

科目別に1月中旬までに課題締切。その後、2/29まで閲覧可能

2/29

オンライン授業

全ての学習をインターネット上で行います。インターネットで講義視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を提出して学びを進めます。提出期限は科目ごとに決められています。成績評価は、これらの提出等、学習状況で判断しますので、通信指導及び単位認定試験は行いません(一部科目を除く)。印刷教材はありません。その科目の授業内容をまとめた「講義ノート」、学びの参考となる「資料」はダウンロードすることができます。

がんばるぞ〜



11/1

ライブWeb授業

1/10

面接授業の代替措置としてのWeb授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。ご自宅等でPC等を用いて受講します。決まった日時に授業を行うリアルタイム形式の授業で授業当日は、専用システムにログインし、各回の講義用zoomへのリンクから仮想の講義室に入室します。このライブWeb授業科目は、本学の正式な授業科目で、卒業要件上の「面接授業科目またはオンライン授業」の単位として扱われます。授業の取り組みやレポート等の評価の結果、合格した場合には所定の単位が付与されます。Q&Aは「オンライン授業体験版」(<https://online-open.ouj.ac.jp/>)内にある「ライブWeb授業体験版」をご覧ください。

2月下旬 成績通知

**次学期に履修する
科目登録申請**

■申請先：本部

郵送
2/13～2/28

Web
2/13～2/29

第1学期のライブWeb授業開講科目は2月初旬、ライブWeb授業体験版上で公開します。



Webを利用した科目登録は、放送大学学生専用のサイト「システムWAKABA」から申請してね。



面接授業

10/14

面接授業

1/28

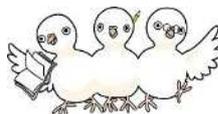
空席発表・追加登録申請

申請先：開設学習センター

空席発表:10/14(土)
追加登録受付:10/19(木)

受付締切:原則として開講日の一週間前

面接授業の追加登録は、授業を開設するセンターの窓口で、授業料を添えてお申し込みください。



今後のスケジュール

10月			11月			12月		
1	日		1	水	㊦ 2023年度卒業研究報告書 提出締切	1	金	
2	月	閉所日	2	木		2	土	面接授業
3	火		3	金	閉所日 文化の日	3	日	面接授業 住川先生・出前講演会
4	水		4	土	面接授業	4	月	閉所日
5	木		5	日	面接授業	5	火	
6	金	㊦ 集中科目履修生単位認定試験課題 提出締切	6	月	閉所日	6	水	単位認定試験操作体験会
7	土	2023年度第1学期 学位記授与式 2023年度第2学期 入学者の集い	7	火		7	木	
8	日	(予備日)大学院全科生入学試験第1次選考 (修士全科生・博士後期課程)	8	水	通信指導提出開始 (Web~11/29) 書に親しむ	8	金	
9	月	閉所日 スポーツの日 長谷川先生・出前講演会	9	木		9	土	面接授業 菅原先生セミナー・アベ先生セミナー 数学セミナー
10	火		10	金		10	日	面接授業 単位認定試験操作体験会
11	水		11	土	面接授業 木村先生セミナー・住川先生セミナー 数学セミナー	11	月	閉所日
12	木		12	日	面接授業 和風サークルさつき	12	火	
13	金		13	月	閉所日	13	水	
14	土	㊦ 面接授業空席発表 数学セミナー	14	火		14	木	
15	日	和風サークルさつき	15	水	通信指導提出開始 (郵送~11/29 大学本部必着)	15	金	
16	月	閉所日	16	木	渡邊先生セミナー	16	土	面接授業 単位認定試験操作体験会
17	火		17	金		17	日	面接授業 和風サークルさつき
18	水	書に親しむ	18	土		18	月	面接授業 ㊦ 修士論文提出締切
19	木	㊦ 面接授業追加登録受付	19	日	放たまつり・展示	19	火	関先生セミナー
20	金		20	月	閉所日	20	水	書に親しむ
21	土	面接授業	21	火		21	木	渡邊先生セミナー
22	日	面接授業	22	水		22	金	
23	月	閉所日	23	木	勤労感謝の日 放たまつり	23	土	面接授業 数学セミナー
24	火		24	金		24	日	面接授業 浦木先生ワークショップ
25	水		25	土	面接授業 アベ先生セミナー 数学セミナー	25	月	閉所日
26	木		26	日	面接授業 ㊦ ㊦ 2024年度第1学期 浦木先生ワークショップ 第1回出願開始 (~2/29)	26	火	
27	金		27	月	閉所日	27	水	臨時閉所日
28	土	面接授業 住川先生セミナー 数学セミナー	28	火		28	木	臨時閉所日
29	日	面接授業 浦木先生ワークショップ	29	水	通信指導提出締切 (Web・郵送)	29	金	閉所日
30	月	閉所日	30	木		30	土	閉所日
31	火					31	日	閉所日

㊦…教養学部

㊦…大学院修士課程

㊦…大学院博士課程

㊦…学校図書館司書教諭講習

鳥取学習センターの 開 所 時 間

期 間	曜 日	開 所 時 間
通 常 期	火～日	9:30～18:00
単 位 認 定 試 験 期 間	火～日	9:30～18:00
毎 週 月 曜 ・ 祝 日 ・ 年 末 年 始 他	閉 所 日	

※単位認定試験期間中は、入所制限並びに開所時間に変更になります。
ご注意ください。

ぷりずむ 第191号 令和5年10月発行
編集・発行 放送大学 鳥取学習センター



〒680-0845鳥取市富安2-138-4
鳥取市役所駅南庁舎5階
TEL 0857(37)2351
FAX 0857(37)2352
Email newtottori@ouj.ac.jp

web site <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori>